

本メールマガジンは山梨大学 新技術情報クラブ会員の皆様へ最新情報をお知らせする目的で配信しております。メール配信を希望されない方は、「配信停止」とお書きの上、ご返信ください。

産学連携コーディネータ
活動レポート コラム【No.27】
コーディネータ 服部 康広

3月は気温差が激しい日も多く、体調管理も大変でしたが、皆様お元気でお過ごしでしょうか。漸く暖かい日差しを感じ、桜も咲き始め、大学では卒業式や入学式の季節となりました。

改めまして、新技術情報クラブの平成27年度の活動にご協力を頂きましたこと、厚くお礼申し上げます。今年度の本クラブのトピックとしては、昨年度から試行的に始めたアカデミックサロンを公式イベントとして定着させたことが挙げられます。従来の大学での講義形式ではなく、大学外で研究者と親しく交流できる数少ない場として好評を頂いております。また研究者や我々にとっても、近隣の企業さんのニーズや興味を知ることができる貴重な機会となっております。本クラブ会員様には優先的にご案内しておりますので、未だの方は是非ともご参加ください。このような活動を出発点として大学研究者と研究内容を知って頂き、大学と企業のあるいは企業間のコラボレーションが発生して、新たな事業が起きれば幸いです。そこまで大きな話にならなくても、大学研究者と企業さんの共同研究や、研究者による技術指導というスキームも用意しておりますので、ご相談ください。

平成28年度はますます活動を活発にしていきたいと思っておりますので、皆様の一層のご理解ご支援をよろしくお願いいたします。

産学連携コーディネータ 服部康広

【お知らせとお願い】 新技術情報クラブ 会員更新

ご入会いただいております新技術情報クラブは、4/1 から 3/31 までの年度更新としており、3/31 をもちまして平成 27 年度における会員登録期間が満了となります。3/29 に更新手続きのご連絡メールを送信いたしました。継続しての会員登録をお願いしたく、よろしくお願いいたします。

メールマガジン 目次

- 01： 公募情報 (4 件)
- 02： イベント案内 (2 件)
- 03： プレス情報 (1 件)
- 04： 大村先生情報 (1 件)
- 05： 特許情報 (3 件) → 会員のみ配信



(1) 公募のご案内(公募期間: 4/1~4/5)

山梨県 平成28年度ブランドプロモーション支援事業費補助金

http://www.pref.yamanashi.jp/chiikisng/brand_charenge/brand_promotion.html

【補助事業の目的】

この補助金は、地場中小企業者等が行う産地ブランド力を高める事業や国内外の販路開拓を行う事業であり、他の地場中小企業者の新たな事業活動の誘因となりうる先導的事業及び自主努力旺盛な事業の一部を補助することにより、地場産業の育成に寄与するとともに、やまなしブランドの形成を図ることを目的としています。

◆公募期間: 平成28年4月1日(金)~平成28年4月5日(火) 午後4時(必着)

◆応募方法: 募集期間内(土日を除く)に来庁日時を事前にご連絡の上、
地域産業振興課(県庁別館3階)にお越しください。

◆補助対象事業:

- 1 産地ブランドの形成や産地イメージアップを推進する事業
- 2 地域の優れた資源による地場産業製品等の販路開拓のために行う事業

◆補助対象者:

- 1 地場中小企業者
(資本金の額又は出資の総額が3億円以下の会社並びに常時使用する従業員の数が300人以下の会社及び個人であって、製造業を主たる事業として営み、かつ、県内に主たる事務所を有するもの)
- 2 二以上の企業者の集まりであって、その構成員の2/3以上が地場中小企業者であるもの
- 3 地場中小企業者によって構成されている組合又は団体

◆補助限度額: 1 補助事業 250万円(海外展開を図る事業については300万円)
ただし、1 地場中小企業者が行う海外販路開拓事業は200万円、
その他の事業は150万円

◆補助率: 1/2以内

◆応募書類等: 詳細な案内や書類の様式は、下記URLをご覧ください。

http://www.pref.yamanashi.jp/chiikisng/brand_charenge/brand_promotion.html

◆審査:

- (1) 外部有識者等で構成する「審査委員会」において、書類審査および面接審査を行います。
- (2) 申請者には、審査委員会にご出席いただき、事業計画内容等のプレゼンテーション及び質疑応答を行っていただきます。
- (3) 審査委員会は、平成28年4月中旬に予定しています。
- (4) 審査の結果は、決定後に書面にて通知します。

◆問合せ: 山梨県産業労働部地域産業振興課 産業振興担当

〒400-8501 甲府市丸の内1丁目6-1

TEL.055-223-1543 FAX.055-223-1569

(2) 【NEDO 公募情報】

「中堅・中小企業への橋渡し研究開発促進事業」に係る実用化開発テーマ

※リンク先 http://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100103.html

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)は、「中堅・中小企業への橋渡し研究開発促進事業」に係る実用化開発テーマを下記のとおり広く公募いたします。詳細はリンク先で確認ください。

●事業内容

本事業では、中堅・中小・ベンチャー企業(以下「中小企業等」という。)及び組合等が橋渡し研究機関から技術シーズの移転を受けてビジネスにつなげるこ

とや、中小企業等及び組合等が保有する技術を橋渡し研究機能の能力を活用して迅速かつ着実に実用化することを通じて、自社の技術力向上や生産方法等の革新等を実現することを促進します。加えて、上述のような取組を NEDO が支援することにより、橋渡し研究機関が積極的にその機能強化に取り組むことを促進します。

●説明会

「平成 28 年度中堅・中小企業への橋渡し研究開発促進事業」の説明会を以下のとおり開催します。いずれの日程・会場においても、助成金交付申請（申請者：中小企業等及び組合等）及び「橋渡し研究機関」の確認申請（申請者：公的研究機関、大学及び高専）の両方について、ご説明をいたしますので、ご都合のよい日時・会場の説明会にご参加ください。申請資格として出席を義務づけるものではありませんが、できる限り、ご参加ください。

また、参加を希望される方は、事前の参加申し込みをお願いいたします。

川崎会場 第 1 回目は 3/28 実施済み

○川崎会場（第 2 回目）

平成 28 年 4 月 11 日（月） 60 名

説明会：13 時 30 分～ NEDO 本部 21 階西会議室

〒212-8554

神奈川県川崎市幸区大宮町 1310 ミューザ川崎セントラルタワー21 階

※直接会場までお越しください。

●応募方法等→詳細はリンク先で確認ください。

●公募期間：平成 28 年 3 月 22 日～平成 28 年 5 月 10 日

●問い合わせ先

イノベーション推進部 プラットフォームグループ

担当者：板倉、渡邊、北川、梅村、綱島

TEL：044-520-5175

E-MAIL：hashiwatashi28@nedo.go.jp

(3) 【JST 公募開始】公募期間 3/25～6/6

「産学共創プラットフォーム共同研究推進プログラム」

※リンク先 <http://www.jst.go.jp/opera/index.html>

科学技術振興機構（JST）は以下要領で、平成 28 年度新規事業「産学共創プラットフォーム共同研究推進プログラム」の募集を行います。詳細はリンク先で確認ください。

●プログラムの趣旨・公募の狙い

「産学共創プラットフォーム共同研究推進プログラム」では、産業界との協力の下、大学等が知的資産を総動員し、新たな基幹産業の育成に向けた「技術・システム革新シナリオ」の作成と、それに基づく非競争領域※としての産学共同研究を通して、基礎研究や人材育成における産学パートナーシップを拡大し、日本のオープンイノベーションを加速します。

企業だけでは解決できない大学等の基礎的・基盤的研究が必要である、新たな基幹産業の育成の核となる革新的技術の創出を目指した、学問的挑戦性と産業的革新性を併せ持つ研究領域の提案を期待します。

企業による民間資金を活用したマッチングファンド形式の研究開発プログラムです。企業には、大学等における基礎研究の企画から参画し、研究費および博士課程学生などの人件費などの拠出を通じた本格的な産学共同研究を推進していただきます。

大学等および民間企業はプラットフォームを担う「共創コンソーシアム」を形成し研究開発を推進します。

上記の革新的技術によるイノベーションの担い手となる人材の育成をはかります。学生や若手研究者を含む多様な人材の参加を推奨します。

※ 非競争領域（pre-competitive stage）

学術論文の発表が可能で、大学等や複数の民間企業が参画する共創コンソーシアムにおいて、研究成果に関する情報の共有が可能となる基礎的・基盤的研究領域。

●提案対象

大学等（提案時においては、3大学等以上の参画を要件とします）および民間企業（提案時においては異業種（例えば製造業とサービス業など）を含めた5社以上を要件とします）群との連名による申請

大学等：国公立大学、大学共同利用機関、高等専門学校、国立研究開発法人、国公立試験研究機関、研究開発を行っている特殊法人・独立行政法人・公益法人等（研究開発業務について公益目的事業の認定を受け、法人税非課税となっている法人に限る）

民間企業：企業（株式会社、有限会社、合資会社、合名会社、合同会社）および大学等ではない法人

●採択予定件数 → 4研究領域程度

●研究領域あたりの支援規模

・資金 1. 7億円程度（間接経費含む）／年・領域（研究開発費：

1. 5億円程度、調査推進費：0. 2億円程度）

研究開発費：研究領域・共創コンソーシアムあたり上記の研究開発費を上限として、民間企業が提供する研究資金総額と同額までを、JSTが大学等に対し、支援するマッチングファンドです。

調査推進費：研究領域に対して、産学による詳細な研究企画や共創コンソーシアムを推進する経費を支援します。

・支援期間 5年度

●提案の方法

本公募では、府省共通研究開発管理システム（e-Rad）を用いて提案を行っていただきます。また、提案書表紙（提案者（上記）の押印済み）および参画する企業のパンフレット（作成している場合）を郵送にて提出いただきます。★提案書様式の入手方法→リンク先で確認ください。

●スケジュール

・公募開始 平成28年3月25日（金）

・公募終了 平成28年6月 6日（月）

●公募説明会

以下の通り予定しています。

詳細は本プログラムホームページにて掲載する予定です。

日時：平成28年4月8日（金）午後

場所：JST東京本部 地下1階ホール（東京都千代田区四番町5番地3）

●お問い合わせ先

科学技術振興機構 イノベーション拠点推進部 共創プラットフォーム担当
蔣 赫（ショウ カク）、佐藤 比呂彦（サトウ ヒロヒコ）、松永 光正
（マツナガ テルマサ）

〒102-0076 東京都千代田区五番町7 K's 五番町

Tel : 03-5214-7997 Fax : 048-226-5684 E-mail : opera@jst.go.jp

（4）【新技術開発財団 公募】公募期間 4/1～4/20

「第97回（平成28年度第1次）新技術開発助成」募集

※リンク先：<http://www.sgkz.or.jp/download/newtech/download.html>

公益財団法人 新技術開発財団は以下要領で第97回（平成28年度 第1次）の新技術開発助成を実施します。受付期間は、4月1日から4月20日（郵送物は締切日消印有効）です。関係各位、とくに特許権所有者の積極的なご応募を期待します。詳細は以下のリンク先で確認下さい。

※リンク先：<http://www.sgkz.or.jp/download/newtech/download.html>

●募集要項【抜粋】

1. 助成の目的とねらい

新技術開発財団は、広く科学技術に関する独創的な研究や新技術を開発し、これを実用化することによって我が国の産業・科学技術の新分野等を醸成開拓し、国民生活の向上に寄与することを目的としています。

当財団の助成は「独創的な新技術の実用化」をねらいとしており、基本原理の確認が終了（研究段階終了）した後の実用化を目的にした開発試作を対象にしています。

2. 助成対象

・企業の要件

- (1) 資本金3億円以下または従業員300名以下で、自ら技術開発する会社であること
- (2) 大企業（資本金3億円超、かつ従業員300名超）及び上場企業でないこと
- (3) 大企業（資本金3億円超、かつ従業員300名超）及び上場企業の関係会社でないこと

・開発技術の要件

- (1) 独創的な国産の技術であり、本技術開発に係わる基本技術の知的財産権が特許出願等により主張されていること
- (2) 開発段階が実用化を目的にした開発試作であること。すなわち、“原理確認のための試作”や“商品設計段階の試作”は対象外
- (3) 実用化の見込みがある技術であること
- (4) 開発予定期間が原則として1年以内であること
- (5) その技術の実用化で経済的効果が大きく期待できること
- (6) 自社のみの利益に止まらず、産業の発展や公共の利益に寄与すること
- (7) 同じ技術開発内容で他機関からの助成を受けていないこと

・助成対象外

- (1) 医薬品およびソフトウェア製品の実用化開発
- (2) 国の承認審査のために必要な臨床試験段階の開発
- (3) 研究段階、商品設計段階、量産化段階の技術開発

3. 助成金

- (1) 助成金の対象となるのは、本開発試作に直接必要な費用（ただし、社内人件費は原則助成対象外です。詳細は記入要領参照。）で、助成期間中に発注し、当期間中に支払いが終了するものに限りします。
- (2) 試作費合計額の2/3以下で2,000万円を限度として助成します。
- (3) 本助成は融資ではありません。助成金は助成開始時に行う助成金贈呈式で贈呈いたします。
- (4) 助成金の受取り・管理の為の専用口座を開設していただきます。
※中間報告および完了報告で経費実績を報告していただきます。
※契約通り実施されなかった場合は助成金の返還を求めることがあります。

4. 提出書類→リンク先でご確認下さい。

5. 応募受付期間

提出書類は下記受付期間内に当財団宛お送りください。

平成28年4月1日～4月20日（締切日消印有効）

6. 審査および結果の通知

当財団に設けた審査委員会において、慎重かつ厳正に審査し、理事会において決定されます。審査結果は、平成28年2月下旬に文書により通知いたします。なお、審査の経過や内容に関する問い合わせには一切応じることはできません。

●申請書提出先、問合せ先

公益財団法人 新技術開発財団

〒143-0021 東京都大田区北馬込1-26-10

電話(03)3775-2021 FAX(03)3775-2020

<http://www.sgkz.or.jp>

E-mail での問合せは、zaidan-mado@sgkz.or.jp へ



02: イベント案内 (2件)

3/31 東京コンファレンス 4/8 東京イノベーションフォーラム



(1) 3/31 東京コンファレンス

「産学を牽引する中型放射光施設 SLiT-J 建設を実現する会」

※リンク先：<http://aaa-sentan.org/event/slitj201603.pdf>

◇東北放射光計画 SLiT-J を実現する会

国立大学法人東北大学・一般社団法人東北経済連合会主催による下記セミナーを開催します。ご興味のある方は是非ご参加下さい。

●セミナー名：東京コンファレンス

「産学を牽引する中型放射光施設 SLiT-J 建設を実現する会」

●日 時：2016年3月31日(木) 13:00～17:00

●場 所：ステーションコンファレンス東京 5階(東京都千代田区)

<https://www.tstc.jp/tokyo/access.html>

●主 催：国立大学法人東北大学

一般社団法人東北経済連合会

●参加費：無料

●プログラム概要：

13:00-13:30 開会のご挨拶(東北大学総長 里見 進)

(東北経済連合会 会長 高橋 宏明)

13:30-14:00 東北放射光計画の概要(東北大学総長 里見 進)

14:00-14:30 我が国の放射光科学の進展とその産業展開

(立命館大学 SR センター長・ImPACT プログラムアドバイザー・
日本放射光学会 前会長 太田 俊明)

14:30-15:00 次世代タイヤ開発(エナセーブ)への応用

(住友ゴム株式会社 岸本 浩通)

15:00-15:30 財団設立に向けたご協力をお願い

(東北経済連合会 副会長 向田 吉広)

16:00-17:00 名刺交換会

◆申込方法：

件名には「参加申込 東京コンファレンス」をご記入いただき、本文に「1.お名前(フリガナ)/2.電話番号/3.メールアドレス/4.ご住所/5.ご所属・役職」を入力のうえ、下記メール送信先までお送りください。

◆メール送信先：kenkyo-kikaku@grp.tohoku.ac.jp

◆お問い合わせ・連絡先

・東北大学研究推進部研究推進課研究推進係 TEL：022-217-5014

E-Mail:kenkyo-kikaku@grp.tohoku.ac.jp

・一般社団法人 東北経済連合会 TEL：022-799-2103

(2) 4/8 東京イノベーションフォーラム

「産学共創プラットフォーム共同研究推進プログラム」

※リンク先 <http://www.sgkz.or.jp/download/newtech/download.html>

西武信用金庫では、地域の多様な課題を情報共有し、地域のリソースの活用や連携により、地域の活性化を行うことをコンセプトとした、異業種交流会形式のフォーラムを開催しております。

今回のテーマは、『ミニマルファブ』多品種・小量生産の半導体システムです。大規模な生産設備で大量生産をすることで単価競争してきた半導体業界は世界を相手に苦戦を強いられております。今回紹介する『ミニマルファブ』は3Dプリンターに続く、新たなものづくり革命といわれ、中小企業にも参入できる半導体生産システムです。今回は特別に開発のトップをお招きしております。是非とも皆さまの事業の一助としていただきたく御案内申し上げます。

記

1. 日時 平成 28 年 4 月 8 日(金) 18:00～21 : 00
2. 会場 西武信用金庫 八王子支店
<http://www.seibushinkin.jp/atm/tenpo/159.htm>
3. 内容 (1) 講演 『3D プリンターに続く、新たなものづくり革命』
～多品種・少量生産の半導体システム ミニマルファブ～
講演者:国立研究法人 産業技術総合研究所ナノエレクトロニクス部門
ミニマルシステムグループ長 原 史朗 氏
(2)トピックス
(3) 交流会
4. 参加申込 開催日前日の 4 月 7 日(木)までに
下記 西武ビジネスポータルサイトから入力ください
<https://www.seibubp.jp/minitama/toubu/>
5. 参加費用 交流会に参加される方のみ(一般 1,000 円、学生 100 円)

(お問い合わせ) 西武信用金庫 業務推進企画部 担当 吉野
Tel : 03(3384)6111



■03 プレス情報

3/4 萩原教授の研究グループが砥粒加工学会賞論文賞を受賞



平成 28 年 3 月 4 日 (金)、大田区産業プラザ PiO (東京都) で開催された砥粒加工学会通常総会において、工学部機械工学科の萩原親作教授を代表とし、久慈照信氏 (株式会社アポロエンジニアリング)、清水毅准教授 (工学部情報メカトロニクス工学科)、Yuzairi Abdul Rahim さん (大学院博士課程 2 年 (情報機能システム工学専攻))、篠塚郷貴技術職員 (工学部附属ものづくり教育実践センター) を共同研究者とするグループが砥粒加工学会賞論文賞を受賞しました。この賞は、砥粒加工学会誌の過去 1 年間に掲載された論文を対象に、内容が特に優秀と認められるものに贈られるものです。

受賞論文題目は、「天然資源を活用した炭砥石の開発第 1 報：シリコンウエハの研磨」で、天然資源である炭をミクロンサイズまで破砕することで鋭利な粒子形状が得られることに着目し、結合材として天然資源であるゼラチンを混ぜた炭砥石を開発したこと、さらに開発した炭砥石で半導体シリコンウエハのナノレベル鏡面研磨に成功したことが評価されたものです。

受賞した萩原教授は、「名誉ある賞を頂き感謝しております。5 年間の研究の末、実用レベルに到達することができました。現在は身延町 (山梨県) の竹炭を最良の研磨材として活用しています。既に複数社から研磨依頼が来ており、更なる成果を目指します。」と述べています。



■04 : 大村先生情報

3/18 大村 智博士が、教育人間科学部附属小学校の卒業式にサプライズ登場



平成 28 年 3 月 18 日 (金)、本学教育人間科学部附属小学校の卒業式において、平成 27 年にノーベル医学・生理学賞を受賞した大村 智博士がサプライズで登場し、式に先立ち祝辞を述べられました。

大村博士は「ご卒業おめでとうございます。本日、みなさんに“恕”(ジョ)という言葉をご紹介します。“恕”(ジョ)とは思いやりのこと。人を思いやる気持ちを忘れず、これからも頑張ってください」と卒業生にエールを送りました。



- 1) このメールの内容は、提供された会員様限りでご使用下さい。
- 2) メールの内容については国立大学法人山梨大学が著作権を有します。